

産技第260号
令和5年9月20日

カーボンニュートラルやまがた県民運動推進会議

各構成団体代表者 殿

山形県産業労働部長

山形県環境エネルギー部長

第3回やまがた水素みらいミーティングの開催について（案内）

本県産業振興の推進につきましては、日頃から御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、利用時に二酸化炭素を排出せず、カーボンニュートラルの突破口として期待される水素エネルギーへの理解を深めるとともに、省内ものづくり企業における水素関連ビジネスへの参入に向けた情報提供として、「水素関連部品製造」をテーマとしたセミナーを下記のとおり開催することといたしましたので、是非、御参加くださるよう御案内申し上げます。また、各企業が所属される団体におかれましては、所属会員等への周知について御協力くださるようお願いします。

記

- 1 日 時 令和5年10月16日（月）13時30分～16時00分
- 2 場 所 山形県高度技術研究開発センター（山形市松栄二丁目2番1号）
- 3 テーマ 水素ステーションを中心とした水素関連部品製造
- 4 講演内容
 - (1) 水素社会を取り巻く環境、規制、規制緩和
講師：一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 小林 拓 氏
 - (2) 水素インフラを構成する機器、部品
講師：一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 鈴木 修一 氏
 - (3) 高圧水素用機器を製造するために必要な知識・技術
講師：一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 鈴木 修一 氏
- 5 申込方法 別添チラシを御参照ください。

担当

山形県産業労働部産業技術イノベーション課 次世代産業振興室 松木
電話番号：023-630-2358 メール：matsukito@pref.yamagata.jp

山形県環境エネルギー部環境企画課カーボンニュートラル・GX戦略室 川内
電話番号：023-630-2336 メール：kawauchi@pref.yamagata.jp

参加費
無料

第3回 やまがた水素みらいミーティング 水素ステーションを中心とした 水素関連部品製造

水素ステーション等、超高压の水素設備で使用する部品は、安全性の観点から材料や工法について十分留意する必要があります。

本ミーティングでは、今後の水素利活用の進展に向け、水素関連機器の規制の現状や規制緩和の動向、高圧水素用機器の関連部品を製造するための知識や技術について解説します。

10月16日(月)
13:30～16:00
[13:00 受付開始]

場所:
山形県高度技術研究開発センター
(山形市松栄2-2-1)

プログラム

講演1 水素社会を取り巻く環境、規制、規制緩和

13:35～

一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 小林 拡 氏

2012年から70MPa水素ステーション建設が始まり、現時点では160か所を超えている。これまでの水素社会を取り巻く環境、規制、規制緩和の流れで例示基準化を目指した鋼材研究の経緯・成果を紹介する。

講演2 水素インフラを構成する機器、部品

14:05～

一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 鈴木 修一 氏

超高压水素インフラの例として水素ステーションを取り上げ、水素ステーションを構成する水素蓄圧器やディスペンサー等の高圧水素機器やこれらに使用される各種部品類について、その概要や機能等を紹介する。

講演3 高圧水素用機器を製造するために必要な知識・技術

15:05～

一般財団法人石油エネルギー技術センター 主任研究員 鈴木 修一 氏

水素は金属表面から内部に侵入し、材料の機械的特性を劣化させて破壊を引き起こす危険性がある。水素の影響は圧力とともに増大するため高圧水素用機器を製造する場合は特に注意が必要となる。規制面及び科学的な側面から材料選択・溶接等の加工の影響と水素との関係について基本的な解説を行う。

お申込み 【申込み締切:10月11日(水)】

やまがたe申請より参加登録をお願いします。

https://apply.e-tomo.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail?tempString=R5SuisoMeeting3



申込み用二次元コード

主催 山形県

問合せ先 産業労働部 産業技術イノベーション課
次世代産業振興室 電話 023-630-2358